

研究者講演会

世界へ伝える第一歩 英語で拓く研究の未来

2025年10月27日 場所：都立科学技術高等学校

SSH
Super Science High school

10月27日、国際的に活躍する研究者から「**英語学習の実践的方法**」および「**英語を活用した研究の進め方**」について学び、今後の研究活動に役立てることを目的として、研究者講演会を開催しました。

今回は一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程（社会心理学専攻）の奥山智天（おくやまとまたか）さんをお招きし、ご講演いただきました。講演は、前半の「基礎編：英語学習」と後半の「応用編：研究活動」という二部構成で行われ、英語の効果的な学習方法から、実際の研究現場での英語の活用まで、幅広くお話いただきました。奥山さんは講演の中で、「**高校での英語学習ではどうしても点数がついてしまうが、点数を気にしすぎず、自由に英語を話してほしい**」と語り、英語学習の本来の楽しさを強調されました。さらに、ハイデルベルク大学やスタンフォード大学での留学・研究経験、社会心理学の研究に関するお話など、普段の学校生活ではなかなか聞くことのできない貴重なお話も伺うことができました。

講演の締めくくりには、社会心理学の研究を引用しながら「**人の行動は環境に影響される。皆さんも“英検に申し込む”“講習に参加する”など、自分の環境を少し変えてみることで、学習に取り組みやすくなるかもしれません**」とアドバイスをいただきました。

生徒の感想

・学校生活の中ではあまり触れることのない心理学や英語学習についての話を聞くことができ、とても良い経験になりました。

・英語も日本語と同じ「言語」であり、**使うことで身につく**ということを改めて実感しました。また、共同研究を通してさまざまな国の人々に関わる際には、**自分を表現することの大切さ**を学びました。海外に行く機会が少ない私にとって、今回の話を聞いたのはとてもありがたかったです。

・本講演を通じて、英語の基礎的な学習方法から応用的な活用方法まで、体系的に理解を深めることができました。さらに、海外での研究活動や留学制度に関する具体的な知識を得たことで、**将来の進路選択の幅が広がった**と感じます。英語による論文の読解、執筆、国際的なコミュニケーションの重要性についても再認識する貴重な機会となりました。



講演の様子